



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー

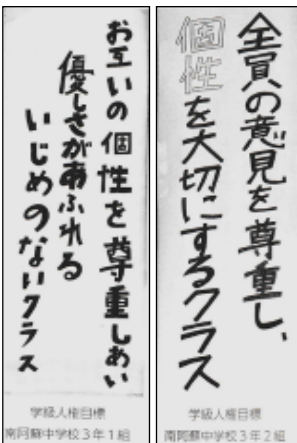
校訓
南 阿 蘇
Mission Action Sense
使命 行動 感性
R4. 3. 4(金) No.43 小柳 弘志

明日は卒業式です

今週は3年生が学校に登校する最後の週でした。3月1日(火)に3年クラスマッチ、それから、総合的な学習の時間での進路公開、そして本日が終業式でした。3年生は明日の卒業式が終わったら、新しい場所で新しいスタートを切りますが、なかまを大切にしたい羽ばたいてください。人権作文集「しらかわ」に載っている。3年生のメッセージの一部を要約、紹介します。

「知って、受け止め、受け入れること」

私のクラスは、それぞれの個性が表れていて、その個性を受け入れ合っているから活動の時は活気があります。今年度の体育大会ではクラス対抗で行われた長縄跳びで優勝することができました。練習の時は掛け声も、並んでいる順番も、飛ぶタイミングもまとまりがなく、本番に不安に感じてしまうほど一体感がありませんでした。しかし、積極的に練習に参加する人や頑張ってまとめようとする人がいたおかげで、体育大会当日はクラス全員が団結し、見事優勝することができました。みんなの活気があふれとても盛り上がりました。何よりもとても楽しい体育大会になりました。いつも、みんなの笑い声が絶えず聞こえるクラスです。また、1人で勉強したい時には勉強でき、1人で読書がしたい時には読書ができるクラスでもあります。私は、その空気に助けられている場面が多いです。私は小学生の頃からグループで行動していて、1人での人に対しては「なぜグループに入らないんだろう」と1人でのことをマイナスに捉えていました。しかし、受験を意識し始め、勉強をする時間が増え、1人で過ごすことも多くなりました。今では、堂々と1人でのこともできるし、1人での人に対して、マイナスに捉えてることもなくなりました。個性を受け入れ合うためには、まず相手と話し、知ることが必要です。私は今まであまり話をしてこなかった人たちと同じ班になり一緒に活動することで、新しい発見がありました。話すだけでも、その人について知らなかったことを知ることができ、「話すことが相手を知る一番の方法だ」と中学3年生になって改めて気が付きました。一人一人が全く違った「個性」を持っています。考え方や感じ方も違います。まずは、相手を知ること、そして、その人の存在、気持ち、考え方を受け止め、受け入れることが周囲の人と共に生きていく上で大切なことだと考えます。私は全ての人が全ての人に受け入れられるような将来がいつか訪れることを願います。これから、どんどん新しい環境へと変化していくけれど、すべては、人と話していくことから始まると思うので、自ら「話す」ということを実行していきたいです。



本日の3年生の修了式、明日の卒業式では新型コロナウイルス対策のため、式中の話は短くしたいと思います。今日の修了式の話の裏面に載せています。

3年生修了式の話

代表の人に渡した修了証には、担任をはじめ3年部の先生方が、みなさんのこれからを期待している言葉がたくさん書いてあります。ぜひ、卒業式前に読んで思いを感じ取ってください。

少し早いですが、3年生のみなさん卒業おめでとうございます。

今年度も「コロナ」という言葉を何回使ったことでしょう。学校だよりで確認したところ、今日の43号で118回使っていました。皆さんが1年生の時から、新型コロナウイルス感染症とともに生きる世の中になりました。今までの日常と大きく変わり、制限も増えました。ただ、制限が多かったからこそ工夫が生まれたのも事実です。

日頃の授業や学校行事、部活動で最上級生として、皆さん一人一人が、今年の南阿蘇中学校を見事に引っ張ってってくれました。それを強く感じたのが体育大会やリアルHUGの取組です。リアルHUGではタブレットを使った避難所運営のあり方を代表者が考え実践しました。そこには生徒会スローガンの「With U」の精神が表れていました。また、「フラワープロジェクト」等の新しい実践にも取り組みました。このような取組は後輩に受け継がれていくものと思っています。本当にありがとうございます。

さて、皆さんは進路選択・決定に向けて幾多の困難を乗り越えて自分のこれからの方向を定めつつあります。これから後の人生が時間的には長いですが、これまで生きてきた15年間でその「土台」となると確信しています。10月にあった村長さまの講話で話があったように、大自然に囲まれた南阿蘇村で育ったこと、お世話になったご家族、先生方、地域の方々、友だちがいたことがみなさんの「宝」「土台」です。南阿蘇村に残る人も離れて生活する人も新しいステージでチャレンジしてください。壁があっても支えてくれる「宝」「土台」があります。感謝の気持ちをしっかりと持ち、新しい未来に向かって進んで欲しいと願っています。明日の卒業式での皆さんの凛とした姿を楽しみにしています。